

(別紙5)

補助事業番号 28-2-004  
補助事業名 平成28年度 子どもが幸せに暮らせる社会をつくる活動補助事業  
補助事業者名 一般財団法人リプレット基金事業財団

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

児童養護施設の子どもたちにとって生活を豊かに感じられる「自転車」を寄贈することにより、共有で利用している自転車の利用頻度が増加し、子どもたちの行動範囲が広がる。また、移動手段として日常生活の利便性が向上することで、相対的に子どもたちの健やかな育成の助けとなることを目的とする。

### (2) 実施内容

児童養護施設への自転車寄贈事業

<http://ripple-fnd.org/news/2016/07/post-75.html>

#### ・小学生用自転車の寄贈

全国の児童養護施設3ブロック140施設へ応募要領を配布。応募のあった33施設に99台の自転車を寄贈した。

#### ・自転車贈呈式及び自転車教室の実施

希望に応じて全国5か所で自転車贈呈式と子どもたち向けの自転車教室を行った。

#### ①贈呈式(愛知)

贈呈式を児童養護施設にて実施。施設職員による自転車安全教室が行われた。



安全教育のDVDを鑑賞中



寄贈した自転車と一緒に

②贈呈式と自転車教室（佐賀）

贈呈式と競輪選手による自転車教室を武雄競輪場にて実施



③贈呈式と自転車教室（三重）

贈呈式と競輪選手による自転車教室を四日市競輪場にて実施



④贈呈式（岐阜）

贈呈式を見童養護施設にて実施。地元の交通安全課職員による自転車教室が行われた。



### 贈呈式と競輪選手による自転車教室を和歌山競輪場にて実施



一本橋を渡りしっかりブレーキをかけて停止する練習中



バンクを使って自転車教室の中、競輪選手がデモの準備

## 2 予想される事業実施効果

小学生用自転車寄贈を全国的に公募で実施したことにより、自転車が不足している施設に、寄贈することが可能となった。贈呈式及び自転車教室を実施する事を、応募条件としているため、自転車を安心安全に乗るために、交通ルールを守るという安全教育の機会を向上させた。

本事業は、小学生のうちに自転車に乗る機会を向上させ、交通安全の意識づけをすることで、通学等でより行動範囲の広がる、中学生になった時に、自信を持って安全に自転車を利用することができ、日常生活の利便性を向上させ、将来の選択肢を広げる一助となっている。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

リプレットレポート2016 4,500部

**Ripplet Report 2016**

自転車の寄贈活動  
ひとりでも多くの子どもたちに、  
笑顔で自転車に乗る機会を。

自転車の子どもが  
子どもたちの明日を変える。  
全国の児童福祉施設へ自転車寄贈活動が広がりました。この活動により、全国の児童福祉施設に自転車が寄贈され、子どもたちが笑顔で自転車に乗る機会が増えました。

自転車寄贈活動実績  
2015年度実績  
75.6%  
2014年度実績  
2013年度実績  
2012年度実績  
2011年度実績

メディア掲載  
当財団の自転車寄贈活動が、さまざまなメディアで紹介され、広く社会に認められています。

テレビ、ラジオ、Facebook  
各放送局・放送局  
各放送局・放送局  
各放送局・放送局

自立支援活動  
寄贈プログラム「カネエール」への支援を継続  
カネエールは、全国の児童福祉施設に自転車を寄贈する活動を行っています。この活動により、全国の児童福祉施設に自転車が寄贈され、子どもたちが笑顔で自転車に乗る機会が増えました。

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人 リプレット基金事業財団  
(イッパンザイダンホウジン リプレットキキンジギョウザイダン)

住 所： 〒105-0014  
東京都港区芝1-4-3 SANKI芝金杉橋ビル5F

代 表 者： 理事長 川渕 孝一 (カワブチ コウイチ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 米子 博美 (ヨネコ ヒロミ)

電 話 番 号： 03-6459-4440

F A X： 03-5439-9430

E - m a i l： [info@ripplelet-fnd.org](mailto:info@ripplelet-fnd.org)

U R L： <http://ripplelet-fnd.org/>